

# 定 款

石光商事株式会社

## 第1章 総 則

(商 号)

第1条 当社は、石光商事株式会社と称し、英文ではS. ISHIMITSU & CO., LTD. と表示する。

(目 的)

第2条 当社は次の事業を営むことを目的とする。

1. 各国産コーヒー豆、ココア、紅茶、香料、酒類、食料品、喫茶・レストラン用品、雑貨、及び装飾品、インスタントコーヒーの直輸入製造、加工及びその販売、並びに食品加工用機械・器具の直輸入及びその販売
2. 繊維製品、金属、ゴム製品、酒類、天産物、肥料、機械・器具、雑貨、食料品、菓子、紙製品、鉱石、鉱物性燃料の直輸出入及びその販売
3. 前1・2号に記載する商品の仲介貿易
4. 機械設備及びその附帯工事
5. 運送業
6. 企業の合併、提携、営業権の譲渡の調査、企画及びそれらの斡旋、仲介
7. 不動産の売買、賃貸借、仲介及び管理
8. レストラン経営
9. コーヒーの製造販売に関する技術サポート、ノウハウの提供、成分分析の検査受託、およびコンサルティング等の業務
10. 前各号に附帯する一切の業務

(本店の所在地)

第3条 当社は、本店を神戸市に置く。

(機 関)

第4条 当社は、株主総会および取締役のほか、次の機関を置く。

- 2 取締役会
- 3 監査役
- 4 監査役会
- 5 会計監査人

(公告方法)

第5条 当社の公告方法は、電子公告とする。ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する。

## 第2章 株 式

(発行可能株式総数)

第6条 当社の発行可能株式総数は、22,400,000株とする。

(単元株式数)

第7条 当社の単元株式数は、100株とする。

(単元未満株式についての権利)

第8条 当社の株主は、その有する単元未満株式について、次に掲げる権利以外の権利を行使することができない。

- 2 会社法第189条第2項各号に掲げる権利
- 3 会社法第166条第1項の規定による請求をする権利
- 4 株主の有する株式数に応じて募集株式の割当て及び募集新株予約権の割当てを受ける権利

(株主名簿管理人)

第9条 当社は、株主名簿管理人を置く。

- 2 株主名簿管理人およびその事務取扱場所は、取締役会の決議によって定め、これを公告する。

(株式取扱規則)

第10条 当社の株式に関する取扱いおよび手数料は、法令または本定款のほか、取締役会において定め

る株式取扱規則による。

### 第3章 株主総会

(招集)

第11条 当社の定時株主総会は、毎事業年度末日の翌日から3ヶ月以内に招集し、臨時株主総会は、必要に応じて随時これを招集する。

2 当社は、株主総会を場所の定めのない株主総会とすることができる。

(定時株主総会の基準日)

第12条 当社の定時株主総会の議決権の基準日は、毎年3月31日とする。

(招集権者および議長)

第13条 株主総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、取締役会の決議に基づき、取締役社長が招集し、その議長となる。

2 取締役社長に事故あるときは、取締役会においてあらかじめ定めた順序により、他の取締役がこれにあたる。

(電子提供措置等)

第14条 当社は、株主総会の招集に際し、株主総会参考書類等の内容である情報について、電子提供措置をとるものとする。

2 当社は、電子提供措置をとる事項のうち法務省令で定めるものの全部または一部について、議決権の基準日までに書面交付請求した株主に対して交付する書面に記載しないことができる。

(決議の方法)

第15条 株主総会の決議は、法令または本定款に別段の定めがある場合を除き、出席した議決権を行使することができる株主の議決権の過半数をもって行う。

2 会社法第309条第2項に定める決議は、議決権を行使することができる株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、その議決権の3分の2以上をもって行う。

(議決権の代理行使)

第16条 株主は、当社の議決権を有する他の株主1名を代理人として、その議決権を行使することができる。

2 株主または代理人は、株主総会ごとに代理権を証明する書面を当社に提出しなければならない。

### 第4章 取締役および取締役会

(取締役の員数)

第17条 当社の取締役は、15名以内とする。

(取締役の選任方法)

第18条 当社の取締役は、株主総会において選任する。

2 取締役の選任決議は、議決権を行使することができる株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、その議決権の過半数をもって行う。

3 取締役の選任決議については、累積投票によらないものとする。

(取締役の任期)

第19条 取締役の任期は、選任後1年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結の時までとする。

(代表取締役および役付取締役)

第20条 取締役会は、その決議によって、代表取締役を選定する。

2 取締役会は、その決議によって、取締役の中から取締役会長、取締役副会長、取締役社長各1名、取締役副社長、専務取締役、常務取締役および取締役相談役各若干名を選定することができる。

(取締役会の招集権者および議長)

第21条 取締役会は、法令に別段の定めがある場合を除き、取締役社長がこれを招集し、その議長となる。

2 取締役社長に欠員または事故があるときは、取締役会においてあらかじめ定めた順序により、他の取締役がこれにあたる。

(取締役会の招集手続)

- 第22条 取締役会の招集通知は、各取締役および各監査役に対して、会日の3日前までに発する。ただし、緊急の必要があるときは、この期間を短縮することができる。
- 2 取締役および監査役全員の同意があるときは、招集の手続きを経ないで取締役会を開催することができる。
- (取締役会の決議の省略)
- 第23条 当社は、会社法第370条の要件を充たしたときは、取締役会の決議があったものとみなす。  
(取締役会規程)
- 第24条 取締役会に関する事項は、法令または本定款のほか、取締役会において定める取締役会規程による。  
(報酬等)
- 第25条 取締役の報酬、賞与その他の職務執行の対価として当社から受ける財産上の利益（以下、「報酬等」という。）は、株主総会の決議によって定める。  
(取締役の責任免除)
- 第26条 当社は、会社法第426条第1項の規定により、任務を怠ったことによる取締役（取締役であった者を含む。）の損害賠償責任を、法令の限度において、取締役会の決議によって免除することができる。
- 2 当社は、会社法第427条第1項の規定により、取締役（業務執行取締役等である者を除く。）との間に、任務を怠ったことによる損害賠償責任を限定する契約を締結することができる。ただし、当該契約に基づく責任限度額は、法令が規定する額とする。

## 第5章 監査役および監査役会

- (監査役の員数)
- 第27条 当社の監査役は、4名以内とする。  
(監査役の選任方法)
- 第28条 当社の監査役は、株主総会において選任する。
- 2 監査役の選任決議は、議決権を行使することができる株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、その議決権の過半数をもって行う。
- (監査役の任期)
- 第29条 監査役の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会終結の時までとする。
- 2 任期満了前に退任した監査役の補欠として選任された監査役の任期は、退任した監査役の任期の満了する時までとする。
- (補欠監査役の選任決議の効力)
- 第30条 補欠監査役の選任に係る決議が効力を有する期間は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の開始の時までとする。
- (常勤の監査役)
- 第31条 監査役会は、その決議によって、常勤の監査役を選定する。  
(監査役会の招集手続)
- 第32条 監査役会の招集通知は、各監査役に対して、会日の3日前までに発する。ただし、緊急の必要があるときは、この期間を短縮することができる。
- 2 監査役全員の同意があるときは招集の手続きを経ないで監査役会を開催することができる。  
(監査役会規程)
- 第33条 監査役会に関する事項は、法令または本定款のほか、監査役会において定める監査役会規程による。
- (報酬等)
- 第34条 監査役の報酬等は、株主総会の決議によって定める。  
(監査役の責任免除)
- 第35条 当社は、会社法第426条第1項の規定により、任務を怠ったことによる監査役（監査役であった者を含む。）の損害賠償責任を、法令の限度において、取締役会の決議によって免除すること

ができる。

- 2 当社は、会社法第 427 条第 1 項の規定により、監査役との間に、任務を怠ったことによる損害賠償責任を限定する契約を締結することができる。ただし、当該契約に基づく責任の限度額は、法令が規定する額とする。

## 第 6 章 計 算

(事業年度)

第36条 当社の事業年度は、毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までの 1 年とする。

(剰余金の配当等の決定機関)

第37条 当社は、剰余金の配当等会社法第 459 条第 1 項各号に定める事項については、法令に別段の定めのある場合を除き、株主総会の決議によらず取締役会の決議により定める。

(剰余金の配当の基準日)

第38条 当社の期末配当の基準日は、毎年 3 月 31 日とする。

- 2 当社の中間配当の基準日は、毎年 9 月 30 日とする。

- 3 前 2 項のほか、基準日を定めて剰余金の配当をすることができる。

(配当金の除斥期間)

第39条 配当財産が金銭である場合は、その支払開始の日から満 3 年を経過してもなお受領されないときは、当社はその支払義務を免れるものとする。

附則

(株主総会の場所に関する経過措置)

第1条 第11条（招集）2項の追加は、産業競争力強化法等の一部を改正する等の法律の定めにより、当社が実施する完全電子化による株主総会が、経済産業省・法務省令で定める要件に該当することについて、経済産業大臣および法務大臣の確認を受けた日を効力発生日とし、本条は、効力発生日経過後、これを削除するものとする。

(電子提供措置等に関する経過措置)

第2条 現行定款第14条（株主総会参考書類等のインターネット開示とみなし提供）の削除および変更案定款第14条（電子提供措置等）の新設は、2022年9月1日から効力を生ずるものとする。

- 2 前項の規定にかかわらず、2023年2月末日までの日を株主総会の日とする株主総会については、現行定款第14条（株主総会参考書類等のインターネット開示とみなし提供）はなお効力を有する。

- 3 本条は、2023年3月1日または前項の株主総会の日から 3 ヶ月を経過した日のいずれか遅い日後にこれを削除する。

1. 昭和 2 6 年 1 1 月 3 0 日改正
2. 昭和 2 7 年 5 月 5 日改正
3. 昭和 2 9 年 3 月 1 5 日改正
4. 昭和 3 1 年 4 月 3 0 日改正
5. 昭和 3 2 年 1 月 1 9 日改正
6. 昭和 3 5 年 5 月 6 日改正
7. 昭和 3 8 年 5 月 2 7 日改正
8. 昭和 4 2 年 2 月 2 7 日改正
9. 昭和 4 2 年 1 1 月 3 0 日改正
10. 昭和 4 7 年 1 1 月 2 8 日改正
11. 昭和 4 9 年 1 1 月 2 8 日改正
12. 昭和 5 2 年 1 1 月 2 8 日改正
13. 昭和 5 4 年 1 2 月 2 8 日改正
14. 昭和 5 7 年 1 2 月 2 5 日改正
15. 昭和 6 0 年 1 2 月 2 5 日改正
16. 昭和 6 2 年 1 2 月 2 5 日改正
17. 昭和 6 3 年 1 2 月 2 4 日改正

18. 平成 5年12月24日改正
19. 平成 6年12月22日改正
20. 平成 8年12月24日改正
21. 平成 9年 3月10日改正
22. 平成11年 6月24日改正
23. 平成13年 6月27日改正
24. 平成13年 7月19日改正
25. 平成13年12月26日改正
26. 平成14年 6月26日改正
27. 平成15年 6月27日改正
28. 平成16年 6月29日改正
29. 平成17年 6月29日改正
30. 平成18年 6月29日改正
31. 平成20年 6月27日改正
32. 平成21年 6月26日改正
33. 平成27年 6月26日改正
34. 令和 4年 6月29日改正